

『おつきさま なにみてる』（えほん）

なかじまかおり／作 岩崎書店

おそらにうかぶ、まんまるのおつきさま。

なにみてるのかな？すうすうことり、きらきらほしぞら…。

おそらのうえから にこにこみまもってるよ。



『くらげのりよかん』(えほん)

やぎたみこ／作・絵 教育画劇

おじいちゃんと、きのこのやまにでかけた、たけちゃんは、ふしぎなくらげのりよかんに とまることになりました。

どくきのこのおしばいがあったり、りよかんが うみのなかや、なんきよくにワープしたり…。

くらげりよかんのサービスにはおどろきのれんぱつ！



『さあ、とんでごらん!』(えほん)

サイモン・ジェームズ／さく 岩崎書店



ふゆになり、ことりのジョージもそろそろ とぶれんしゅうを しなくてはいけません。でも、ジョージはこわいからといやがります。

ところが、あるひ、ママがいないあいだに つよいかぜがふいて、ジョージはすに^{はい}入ったまま とばされます。ママがおいかけるけれど、あっちへこっちへとばされて、とうとう すもこわれてしまいました。

ジョージはちゃんととべるかな？

『ハックション あれッ??』(えほん)

デブ・ラッキ／作 BL出版

おとこ ^ニ男の子が、すごいクシャミをしたら、
あたまのなかにあったものがでてきて
しまいました。じぶんの ^{なまえ}名前がわからなくな
くなり、ママの ^{かみ}髪 ^けの毛の色もわからなくな
り、 ^{がっこう}学校で ^{はな}ならったことも、 ^{なか}鼻の中か
らとびだしてしまったのです。

かなしくて鼻をすすりあげたら、とび
だしていったものが ^{かえ}ってきたけれ
ど、もどれなかったものが…。



『バートルのころのはな』(えほん)

仔ソノブ・ガンバトル／作 パーサスリン・ホルマー／絵 小学館



「おかあさんに おんがえしがしたい。」
バートルは、モンゴルのむかしばなしにで
てくる、ころのはなを さがしにでかけま
した。そのはなの あさつゆをあつめて お
ちやをのむと、ながいきできるといわれて
いるのです。めざすは たかくそびえるホブ
スやま。とちゅうには ぶきみなくらいもり
が！

バートルは ぶじにいえにかえりついて、
おかあさんを よろこばせることができる
でしょうか？

『ゆうれい猫ふくこさん』(913)

廣嶋玲子／作 岩崎書店



だんごしょうてんが
団子商店街でかわいがられていた
ねこ
猫のふくこさん。ある日、車にはねら
れて、ゆうれい猫になってしまいま
した。

なつまつ
夏祭りの日、ひさしぶりに外にでた
ふくこさん、そば屋の夏美のようすが
き
気になって追いかけていくと…。ふく
こさん、だいかつやく
大活躍です。

『つくろいものやはじめます

お江戸あやかし物語』(913)

水沢いおり／作 偕成社

むかし、お江戸の町に「つくろいものや」
がありました。ここでは、ちょっとかわつ
たものが働いています。

こまねえさんは、もとはまち針。ちょ
きは、人の縁まで切れる縁きりばさみ
もっていて…。どうやら、みんな、ふるい
道具にたましいが宿った「つくも神」み
たいです。

そして、お客さんも、血吸い娘やら、
お猫さまやら…。



『お父さんのバイオリン』(913)

ほしおさなえ／作 徳間書店

十二歳の梢は交通事故の現場を見たことがきっかけで、バイオリンが弾けなくなりました。同じころ、ふたり暮らしのお母さんも、お父さんから受け継いだ楽団が解散し、職を失ってしまったのです。

ふたりはお母さんの故郷にもどり、本当にしたいことを見つけていきます。



『ずかん プラクトン』(468)

清水洋美／編・著 技術評論社



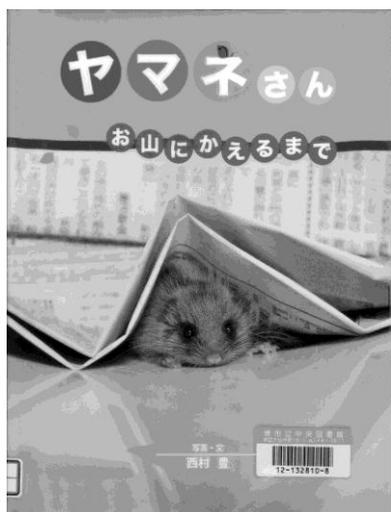
黄色、緑、ピンク、すきとおったもの、丸いもの…。プラクトンはいろんな色や形をしています。

電子顕微鏡をのぞくと、観察するものの細かな構造を立体的に見ることができるとです。

ふだんは見えない神秘的な世界をたのしんでみませんか。

『ヤマネさん お山にかえるまで』(489)

西村豊／写真・文 アリス館



みなさんは「ニホンヤマネ」って知っていますか？山の中にすんでいて、ネズミに似た小さな動物です。ヤマネは、日本の法律で守ってもらわないと、生きていけないほど、数の少ない動物です。

西村豊さんは、ヤマネをずっと見まもってきました。これは、野生の「ニホンヤマネ」を保護し、長野の山にかえすまでのおはなしです。

『森がささやいている 木工家が見つめる木の命』

(583)

池田まき子／著 岩崎書店

よく目にする合板の家具。何百年と生きてきた、きれいな木目の広葉樹ほど、うすくスライスされては木材にはられ、数年で捨てられます。

木工家の工藤さんは、1本の木をそのまま家具に使うことで、「300年生きた木は300年使える家具に」生まれ変わらせていきます。



『テーブルマナーの絵本』 (596)

高野紀子／作 あすなる書房



おうちで、レストランで、おはし
で、ナイフとフォークで…、美しく
食べるマナーの本です。

かわいい動物の絵で、美しい作法
をくわしく説明しています。

毎日の食事をたたくく食べるこ
となによりもたいせつだそうです。

ほかにもいろいろ

☆えほん☆



『ぶつくさモンクターレさん』

サツ／作 西村敏雄／絵
P H P 研究所

『地球をほる』

川端誠／作 B L 出版

『セコイア 世界でいちばん

高い木のはなし』

ジェイツ・フィン／作 福音館書店

☆よみもの☆

おか
『丘の木ものがたり』(913)

森山京／作 講談社

『あやしファンタジア』(913)

斉藤洋／作 理論社



みかた
『いつでもだれかの味方です』(913)

田中直子／作 朝日学生新聞社



しにがみ ついせきしゃ
『死神の追跡者』(933)

クリス・プリーストリー／作 ポプラ社

☆ちしきのほん☆

『はじめての羊毛フェルトししゅう

チクチクさして作る』(594)

せとよしみ／作 学研教育出版

『いまがわかる！世界なるほど大百科』(033)

ジョー・フルマン／著 河出書房新社



さかいしりつとしよかん
堺市立図書館

へいせい ねん がつはっこう
平成24年4月発行